自宅はもちろん
ホテルや旅館でも

平成17年 秀明会世話人

平成十七（二〇〇五）年
八月四日

昨日、私の担当である神慈秀明会の世話人と称する人間が、「お光の扱い方を教えます」なんて言って私の部屋に押しかけて来ました。

何をやり始めるのかと思ったら、「西の方角はどっちだ？」と言って、方角が分かったらその方角に向けて拝み始めました・・・。

で、その方角の壁にお光を引っ掛ける金具を「**穴を開けて付けろ**！」と指示しました。

出張なんかで外出した時も、ホテルでも旅館でも西の方角の壁に、「お光専用の金具」を「**穴をあけて取り付け**、お光を安置しろ！」と指示して行きました。

ちなみに私は賃貸住まいです。常識の範囲で考えてもそんな穴を開けられませんし、ホテルや旅館で壁に穴を開けたら、立派な器物破損で罪になります！

その世話人は、「お光は非常に大事な物だから、そのくらいやらなくては明主様に失礼にあたる！」と言っていましたが、私は呆れ返って、ただ聞いていました（暑い上に、さらに暑苦しい連中が来たので・・・）。

秀明の常識＝世間では非常識

壁に穴を開けて お光りをかけろ！

神社の人は「こんなものはゴミと一緒です」

その一方で、このような報告も届いています。

今日、やっと踏ん切りをつけて、お光、ご神体、観音様を処分しました。

由緒正しい近所の神社にもっていったら、「こんなものは、ごみといっしょです。」といわれてしまい、今までなにを信仰していたのか、つくずく情けなくなりました。

でも、これでさっぱりしました。

早くふつうの生活にしたいものです。

まだ、秀明会の人が、度々来ます。

ひつこいからいやになります。

神社で お光りの処分 をしてきました

秀明改

編　集
アンチカルト編集室
発行所
家族を新興宗教から守ろう
fujiyahoko@excite.co.jp

リセット

秀明会ＯＢが作っている秀明信者のためのページもご覧下さい